

困っている子どもを 理解することから始まる支援

～猪名川町では特別支援教育を推進しています～

休み時間に友達と仲良く遊ぶ子ども達



発達障害の特徴

LD (学習障害)

全般的な知的発達に遅れはありませんが、聞く、話す、読む、書く、計算する、または推論する力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示すさまざまな状態をいいます。

ADHD (注意欠陥/多動性障害)

年齢や発達に不釣り合いな注意力、または衝動性、多動性を特徴とし、社会的な活動や学校生活をするうえで困難を示すものです。

<不注意> 気が散りやすい。気持ちを集中させて努力し続けなければならない課題を避けるなど

<多動性> 授業中や座っているべき時に席を離れてしまう。過度にしゃべるなど

<衝動性> 質問が終わらないうちに出し抜けて答えてしまう。順番を待つのが難しいなど

高機能自閉症等

3歳くらいまでに現れ、知的発達の遅れをとまなわない自閉症をいいます。

<人への反応やかかわりの乏しさ、社会的関係形成の困難さ> いろいろなことを話すが、そのときの状況や相手の感情、立場を理解しないなど

<言葉の発達の遅れ> 含みのある言葉の本当の意味がわからず、表面的に言葉どおりに受け止めてしまうことがあるなど

<興味や関心が狭く特定のものにこだわる> 自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる傾向が強いなど

知的発達の遅れをとまなわず、かつ自閉症の特徴のうち言葉の発達の遅れをとまなわないものをアスペルガー症候群といえます。

例にあげている特徴は、あくまでも主なものであり、医師などの心理学的・医学的な観点からの詳細な検査が必要です。

特別支援教育とは?

物をなくしたり忘れ物が多い、読み間違いや書き間違いが多い、集団行動がとれない・・・このようなことは本人の性格や努力不足、家庭でのしつけの問題と思われるがちですが、そうではなく発達障害である可能性があります。猪名川町では、このような子ども達にも教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行う「特別支援教育」を推進しています。

対象となるのは?

これまで障害児教育の対象ではなかった子ども達の中にも、学習や生活をするうえで困難な状況にある子ども達がたくさんいることがわかってきています。

通常の学級に在籍しているような子ども達に対しても、特別支援学校や特別支援学級で学ぶ子ども達と同じように、一人ひとりの特性に応じた適切な指導や必要な支援を行っていくのが、特別支援教育です。平成19年度から、「盲・聾・養護学校」は「特別支援学校」に、「障害児学級」は「特別支援教育」では、全校・

全校・園で体制を整備

特別支援教育では、全校・園で体制を整備

このように、学校・園全体で特別支援教育を推進することとは、子ども達の障害の有無に関わらず、先生達が子ども達の特性を的確に把握し、わかりやすい授業づくりや豊かな心の育成を進めることにつながっていきます。

第2回 特別支援教育公開講座

発達障害～私が出会った子どもたち

「大阪ADHDを考える会 のびのびキッズ」を設立し、大阪北河内地区の発達障害児・者支援の中心的役割を果たしておられる安原昭博さんを招き、家庭・学校・地域における発達障害児の支援についてお話しいたします。

とき 1月27日(日)午後2時～同4時30分

ところ 中央公民館

講師 安原昭博さん(安原こどもクリニック院長)

定員 先着150人

託児 未就園児のみ(申込期限:1月7日)

申込方法 教育支援室、中央公民館、日生・六瀬住民センターに備え付けの申込用紙(教育支援室のホームページにも掲載)に必要な事項を記入のうえ、教育支援室へ持参またはFAX(FAX766-9501)

問い合わせは、同室(766-6006)へ。

PTCAフォーラムを開催

子育て今むかし

～あなたは子どもの頃を覚えていますか?～

今、いろいろな場面で親自身の姿が問われています。フォーラムに参加し、少し子ども時代を振り返って、忘れていた大切なものを一緒に思い出しませんか?

まずは、私達大人が自分自身を振り返り、子育てを見つめ直してみましょう。

とき 1月19日(土)午後1時～同4時(開場:午後0時30分～)

ところ 社会福祉会館

内容

【講演会】春川政信さん(三木市立三樹小学校教頭)

【交流会】小グループに分かれての意見交換

定員 先着150人

参加費 無料

主催 町PTA連合会

後援 猪名川町・町教育委員会・町青少年健全育成推進会議

申込方法 12月14日までにハガキ(当日消印有効)またはFAXで、住所・氏名・年齢・電話番号・FAX番号を記入し、生涯学習課(〒666-0243柏梨田字前ヶ谷158-1、FAX767-2880)

問い合わせは、同課(767-2600)へ。

《モデル募集》

対象平成18年6月1日から同19年5月31日までに生まれた赤ちゃん(募集人数12人(多数抽選)当選者には1月中に通知します) 申込み・問い合わせは、ハガキに赤ちゃんの名前(ふりがな)・性別・生年月日・住所・両親の氏名・電話番号(平日の昼間に連絡のとれる番号、携帯電話も可)を記入し、12月14日までに総務課広報担当(〒666-0292住所記入不要、766-8707)へ。

すみの たくみ
住野 匠海くん
1歳3カ月(南田原)



イタズラ大好きで元気いっぱいたくちゃん。いつまでも可愛い笑顔を見せてね
父 宏之・母 真理さん

よしの ゆあ
吉野 釉彩ちゃん
1歳5カ月(つつじが丘)



ゆったんの笑顔は日本一!!これからも、パパとママにいっぱい笑顔を見せてね。
父 弘樹・母 香織さん

はい！ポーズ

